

推奨順	成分名	規格 (mg)	薬価 (円)	用法用量 (日)	上段 ; 同等量換算表 [下段] ; 1日薬価(円)	臨床試験データ
3	アレンドロン酸 Na水和物	5mg	20.7	5mg/日経口	5mg/日, 経口 [20.7]	<p>○有効性</p> <p>アレンドロン酸 10mg/day (海外用量) において、椎体骨折の一次予防効果および、椎体骨折、非椎体骨折、大腿骨折、手首骨折の二次予防効果が認められている。(CDSR 2008, CD001155)</p> <p>リセドロン酸 5mg/day (海外用量) において、椎体骨折、非椎体骨折、大腿骨折の二次予防効果が認められている。(CDSR 2008, CD004523)</p> <p>エチドロン酸 400mg/day (海外用量) において、椎体骨折の二次予防効果が認められている。(CDSR 2008, CD003376)</p> <p>イバンドロン酸 1mg/month はリセドロン酸 2.5mg/day に対する椎体骨折のハザード比が非劣性マージンを満たしていた。(Calcif Tissue Int (2013) 93: 137-146 )</p> <p>ゾレドロン酸 5mg/year はプラセボに対し、新規椎体骨折、新規非椎体骨折の発生を有意に抑えた。(OsteoporosInt (2017) 28: 389-398)</p> <p>ミノドロン酸 1mg/day はプラセボに対し、新規椎体骨折の発生を有意に抑えた。(OsteoporosInt (2009) 20: 1429-1437)</p> <p>○安全性</p> <p>エチドロン酸、アレンドロン酸、リセドロン酸の有害事象において、いずれにおいても統計的な差異は見られなかった。(CDSR 2008, CD001155 CD003376 CD004523)</p> <p>イバンドロン酸とリセドロン酸の比較において、いずれの有害事象においても有意差は見られなかった。(Calcif Tissue Int (2013) 93: 137-146 )</p> <p>ゾレドロン酸において、重大な副作用、関節痛についてプラセボより有意に高い発現が見られた。(J Bone Miner Metab(2011) 29: 328-333)</p> <p>○優先順位</p> <p>椎体骨折の抑制効果はいずれの薬剤も大きな差異は見られず、一日の薬剤費が安価なアレンドロン酸とリセドロン酸の週 1 回製剤を第一推奨薬とした。服薬アドヒアランスや消化器障害で週 1 回内服製剤が選択困難な場合は、月 1 回製剤や注射剤の選択をオプションで可能とした。エチドロン酸やミノドロン酸については、非椎体骨折の抑制効果が確認されていないため推奨外とした。</p> <p>※ : 1クールを 13 週間として計算</p>
1		35mg	124.0	35mg/週経口	35mg/週, 経口 [17.7]	
4		900µg	1063	900µg/4 週注射	900µg/4 週, 注射 [38.0]	
3	リセドロン酸 Na 水和物	2.5mg	26.1	2.5mg/日 経口	2.5mg/日, 経口 [26.1]	
1		17.5mg	106.2	17.5mg/週経口	17.5mg/週, 経口 [15.2]	
2		75mg	476.9	75mg/月経口	75mg/月, 経口 [15.9]	
5	ゾレドロン酸 水和物	5mg	36045	5mg/年注射	5mg/年, 注射 [9.8]	
5	イバンドロン酸 Na水和物	100mg	2104.3	100mg/月経口	100mg/月, 経口 [70.1]	
		1mg	4227	1mg/月注射	1mg/月, 注射 [140.9]	
-	エチドロン酸二 Na	200mg	313.2	200mg/日経口	200mg/日, 経口 [48.2※]	
-	ミノドロン酸水 和物	1mg	26.4	1mg/日経口	1mg/日, 経口 [26.4]	
		50mg	627.2	50mg/4週経口	50mg/4 週, 経口 [22.4]	

2022 年 11 月初版 (2022.4 薬価)